



シリーズ

武雄の治水

vol.1

～水と共に生きるまちへ～

武雄市は令和元年、そして令和3年と2年で2度の大水害に見舞われました。地球温暖化などの気候変動により、今後も想定外の災害が発生するかもしれません。それでも「やっぱり武雄」と思ってもらえるまちにしたい。治水対策は市だけの力ではできません。国や県、近隣市町とも密に連携し、あるものを総動員して、やれるものから何でもやる。常識にとらわれず、抜本的な治水対策を進める。住まいと暮らし、なりわいを守るため、創造的復興に取り組みます。さらなる気候変動に対応した、水と共に生きるまちへ。



武雄市長 小松 政

六角川 松浦川 流域治水協議会

国、佐賀県、流域の市町などで構成された協議会。

流域全体のあらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させるため『流域治水』を推進しています。

佐賀県 内水対策プロジェクトチーム (プロジェクトIF)

副知事（防災監）をトップに、県の各部署が連携したプロジェクトチーム。

気候変動型の災害に対応するため、内水氾濫軽減のための対策や内水状況の把握を行っています。

● 国の主な取り組み

- 六角川のさらなる河道掘削など^{※1}
(大町町から橘町まで)
▶これにより、R3年と同規模の雨が降った場合でもポンプ停止を回避
- 高橋排水機場のポンプ増強工事を実施中



◀ポンプ増強



六角川水系掘削工事

※1 河道掘削など…河道を掘ったり、ヨシの生育抑制を行うことで、河川を流れやすくし、洪水時に水位を低下させること。

※2 浚渫…河川に堆積している土砂などを取り除くこと。

取り組みの体制



● 県の主な取り組み

- 県河川の浚渫^{※2}
- 排水ポンプ車の導入（県内に5台）
- 焼米ため池の貯留能力向上のためのゲート整備に着手
- 広田川のポンプ場新設に着手

▼導入予定ポンプ車（イメージ）



▲かさ上げ工事

● 市の主な取り組み

- 市河川の浚渫
- 住宅、事業所の浸水対策への補助（かさ上げ工事など）
- 内水氾濫メカニズムやため池の基礎調査に着手

治水対策課

各課が連携し、治水対策を推進するとともに、各機関との連携強化を行う部署。

様々な治水対策にスピード感を持って取り組み、その取り組みは市民の皆さまへお知らせしていきます。

詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097



引き続き治水対策への取り組みは市報でご紹介するとともに、たけおポータルにも掲載します。▶